

悪性腫瘍既往のある患者に対する心臓移植適応の基本方針

【適応基準】

根治的がん治療後のホルモン療法などの併用がん治療が不要で、地域がん診療連携拠点病院基準以上の認可をうける医療機関のキャンサーボードにおいて、5年無再発生存率が95%以上と推定されると判断された症例

【対象部位候補例】

胃がんⅠ期，大腸がんⅠ期，乳がんⅠ期，子宮頸がんⅠ期，子宮内膜がんⅠ期，皮膚がんⅠ期，低リスク甲状腺がん，喉頭がんⅠ期，腎がんⅠ期，精巣がんⅠ期，前立腺がんⅠ期，など

(注)あくまで，がん非専門医に対する例示であって，その他のがん種について除外するものではない

【運用指針】

1. 本基準の対象患者においては，移植登録後「6か月毎報告」を義務化する
2. 「自施設内判定」は適用されない
3. 移植登録後，新規がん合併によりStatus 3になった症例についても本基準を適応して，Status 1/2への復帰を再評価可能とする

【運用開始】

2021年11月1日(月)以降の申請